

トレンドを斬る

ハウジングライター 藤原利彦

ポラスグループが発表した21年3月期決算はコロナ禍にもかかわらず、売上高3.2%増の2329億円、経常利益14.8%増の177億円。業績のけん引役は戸建分譲住宅。契約ベースは27.7%増の3212棟の大幅増。

ポラス商圏（埼玉県、千葉県、東京都の36行政区）の20年度戸建分譲住宅の着工数は前年比86.3%減の1万9339棟、リーマンショック以来の2万戸割れの中、同社は6.7%増の2455棟。ポラス商圏に

ポラス、コロナ禍も元気の秘密

おけるシェアは12.7%

（19年度10.3%）と2.4ポイントアップした。シェア

アップが快進撃の秘密だ。

20年度の分譲住宅の契約棟数は過去最高だった。

地域密着型経営を推進する同グループはシェアを重視した経営をしているが、変化した。ステイホーム、テレワークなどで家にいる時間が増くなり、新しい生活様式には住まいが大切だと見込まれ、ポラスが提案して減の397棟。シェアは18.3%と推移していたが、コ

□1122□

ロナ禍の20年度2.4ポイントアップした。ポラスグループ中央住宅・品川典久社長は20年度の市場を振り返って次のようにコメントする。

「昨年1回目の緊急事態宣言が出て5月前半まで」

「昨年1回目の緊急事態宣言が出て5月前半まで」

「昨年1回目の緊急事態宣言が出て5月前半まで」

着々とシェアを拡大

建売&リフォームは過去最高

ポラスグループが発表した21年3月期決算はコロナ禍にもかかわらず、売上高3.2%増の2329億円、経常利益14.8%増の177億円。業績のけん引役は戸建分譲住宅。契約ベースは27.7%増の3212棟の大幅増。

おけるシェアは12.7%

（19年度10.3%）と2.4ポイントアップした。シェア

アップが快進撃の秘密だ。

20年度の分譲住宅の契約棟数は過去最高だった。

地域密着型経営を推進する同グループはシェアを重視した経営をしているが、変化した。ステイホーム、テレワークなどで家にいる時間が増くなり、新しい生活様式には住まいが大切だと見込まれ、ポラスが提案して減の397棟。シェアは18.3%と推移していたが、コ

「昨年1回目の緊急事態宣言が出て5月前半まで」